

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 3 年 9 月 30 日 (2021.9.30)

【公開番号】特開 2019-177092 (P2019-177092A)  
 【公開日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-042  
 【出願番号】特願 2018-69642 (P2018-69642)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】  
 【提出日】令和 3 年 8 月 17 日 (2021.8.17)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

遊技球が流下する遊技領域が前面に形成された遊技盤と、  
 前記遊技盤が装着される本体枠とを備え、  
 前記遊技領域に設けた始動口への入球により抽選を行い、該抽選の結果が当りの場合に  
 遊技者に所定の利益を付与するようにした遊技機であって、  
 遊技の進行を制御する主制御 M P U を有する基板と、  
 前記遊技盤の裏面側に設けられ、該基板を収容する主制御基板ボックスと、  
 該主制御基板ボックス内に設けられると共に前記抽選の当り確率に関する設定値を設定  
 可能な設定スイッチと、を備え、  
 前記主制御基板ボックスは、  
 ベース体と、  
 該ベース体に被さる透明なカバー体とを備えると共に、該カバー体と前記ベース体の間  
 の内部空間に前記基板を収容するものであり、  
 前記設定スイッチは、取付部と、該取付部の頂部形状より小径なシリンダ状で前記遊技  
 盤の裏面側から設定キーにより回動操作可能な設定キーシリンダとを有し、  
 前記設定キーシリンダの頂部は、前記カバー体に開設された開口部から外部に露出して  
 おり、  
 前記カバー体には、前記設定キーシリンダを収容可能であって、内径一定の内周壁が前  
 記設定キーシリンダの外周壁との間で所定の隙間を成す受筒部が設けられ、  
 前記設定スイッチの設定キーシリンダの外周よりも外側にはみ出す前記取付部の頂部に  
 、前記受筒部の反開口部側の筒端部を近接させることにより、前記隙間から差し入れられ  
 た異物を前記受筒部の軸線と平行な前記内周壁に沿って前記取付部の頂部のはみ出し部分  
 に向かわせ、そうして前記内部空間内への通過を阻害し得るようにし、  
 前記設定スイッチは、前記主制御基板ボックス内に収容される基板に実装された状態に  
 おいて、前記基板の表面から前記取付部の頂部までの高さが、前記基板の表面から前記設  
 定キーシリンダの頂部までの高さの 1 / 2 以上であり、  
 さらに前記設定スイッチは、前記主制御基板ボックスが前記遊技盤の裏面側に設けられ

たとき、該遊技盤の中央から左側に位置している  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

ところが、釘の姿勢の違いは微妙であり、ごく一部の遊技者のみにしか遊技ホールに設置されている複数台の中から有利な遊技機を選択することができないため、遊技の利益を得ることができる者が一部に偏在する問題があり、見方を変えると、一部のプロ化した遊技者によって遊技ホールの利益が害される問題があった。

斯かる問題を解決するため、抽選の当りの確率を複数段階のうちのいずれかに変更し得るようにしたものも開発されているが、そうすると一部の遊技者によって或はこれらと結託する遊技ホール側の従業員によって当りの確率を都合の良いように変更する、という不正が行われるおそれがあり、そのような不正を防止するための効果的な対策が望まれていた。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、上記に鑑みなされたものであり、その目的は、不正行為を抑制する遊技機を提供することにある。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記の目的を達成するため本発明は、請求項１に記載したように、

遊技球が流下する遊技領域が前面に形成された遊技盤と、

前記遊技盤が装着される本体枠とを備え、

前記遊技領域に設けた始動口への入球により抽選を行い、該抽選の結果が当りの場合に遊技者に所定の利益を付与するようにした遊技機であって、

遊技の進行を制御する主制御ＭＰＵを有する基板と、

前記遊技盤の裏面側に設けられ、該基板を収容する主制御基板ボックスと、

該主制御基板ボックス内に設けられると共に前記抽選の当り確率に関する設定値を設定可能な設定スイッチと、を備え、

前記主制御基板ボックスは、

ベース体と、

該ベース体に被さる透明なカバー体とを備えると共に、該カバー体と前記ベース体の間の内部空間に前記基板を収容するものであり、

前記設定スイッチは、取付部と、該取付部の頂部形状より小径なシリンダ状で前記遊技盤の裏面側から設定キーにより回動操作可能な設定キーシリンダとを有し、

前記設定キーシリンダの頂部は、前記カバー体に開設された開口部から外部に露出しており、

前記カバー体には、前記設定キーシリンダを収容可能であって、内径一定の内周壁が前記設定キーシリンダの外周壁との間で所定の隙間を成す受筒部が設けられ、

前記設定スイッチの設定キーシリンダの外周よりも外側にはみ出す前記取付部の頂部に、前記受筒部の反開口部側の筒端部を近接させることにより、前記隙間から差し入れられた異物を前記受筒部の軸線と平行な前記内周壁に沿って前記取付部の頂部のはみ出し部分に向かわせ、そうして前記内部空間内への通過を阻害し得るようにし、

前記設定スイッチは、前記主制御基板ボックス内に収容される基板に実装された状態において、前記基板の表面から前記取付部の頂部までの高さが、前記基板の表面から前記設定キーシリンダの頂部までの高さの  $1/2$  以上であり、

さらに前記設定スイッチは、前記主制御基板ボックスが前記遊技盤の裏面側に設けられたとき、該遊技盤の中央から左側に位置している

ことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、不正行為を抑制する遊技機を提供することができる。